

相鉄・東急直通線 2023年3月開業予定

2019年11月30日の相鉄・JR直通線の開業に合わせて使用を開始した羽沢横浜国大駅は、相鉄線とJR線が相互直通運転を行っています。相鉄・東急直通線は羽沢横浜国大駅と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線を新設し、この連絡線を利用して相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。現在開業に向けて施工中です。

- ・新たな路線の開業により
広域鉄道ネットワークが形成されます。
- ・東京都心部への所要時分の短縮や乗り換え回数の減少で利便性が向上します。
- ・新幹線へのアクセスが向上します。
- ・相鉄線沿線のさらなる発展や地域の活性化が期待されます。



羽沢横浜国大駅周辺地域

地域まちづくりニュース No.6

発行日2022年6月

地域の歴史紹介コーナー

羽沢星ヶ丘自治会の名称由来

星ヶ丘は保土ヶ谷区常盤台に隣接した町で、自治会名のない昭和35年(西暦1960年)12世帯での始まりでした。仕事を終えて和田町から上がってくる道路も砂利道で苦労したそうです。雨が降るとバスも登れないほど酷く、周辺は雑木林(栗林)で街灯もなく、夜は非常に暗く女性一人で歩くのは危険な立地でした。長谷第3公園(羽沢長谷自治会館併設)も沼地であったそうです。当時は電

柱も無く、住んでいた人達がお金を出し合い、電柱を購入し外灯を付けたそうです。会議を行うにも、自治会館があるわけでもなく、個人宅で行っていました。

そんな中、自治会名を付けようという話になり12名が話し合い色々考えました。小高い丘から星空が綺麗に見える事から『星ヶ丘』が良いということになり、自治会名が星ヶ丘自治会に決まったそうです。

「地域まちづくりプラン」
みんなでつくりましょう!

令和元年12月スタートした「羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会」は、2年3ヶ月間、住民の皆様と共にアンケート調査、ワークショップ、広報誌発行、毎月の定例会・ワーキンググループ会議開催等の活動でサインづくり計画が進んできました。

今後、事業にかかる費用を横浜市に申請する作業へ取りかかりますが、その助成金申請に欠かせないのが「地域まちづくりプラン」です。みなさんからのご意見をいただきながら、地域の課題に対してどう取り組むか、横浜市、都市コーディネーター、横浜国立大学とともに、まとめていきます。

編集後記

羽沢横浜国大駅周辺地域に住む人たちにこの地域に愛着を持ってもらおうと、これまで2年間長い名前で作ってききましたが、もっと身近な活動になるよう、名称を新しくしてロゴマークを決めます。ぜひ、ロゴマーク投票に1票を!

1 『羽沢横浜国大駅周辺まちづくりプラン』

今回のまちづくりプランについて

「地域まちづくりプラン」とは？

「将来、まちがこうなってほしい」という地域みんなの思いを集約し、それに向けて具体的に実行するためのプランです。これにより、市と連携してこの計画を推進することができ、助成金を受け取って活動することもできるようになります。

○作成のためのPOINT

- 1、対象地域範囲を決める
- 2、住民で組織をつくる
- 3、住民で課題を探し、決める
- 4、課題の対策案を作る
- 5、見える化(写真・地図・イラスト)
- 6、住民に知らせて意見を得る

○プランに盛り込む内容

- 1、まち(対象地域)の紹介(地図・写真)
- 2、組織の紹介(図)
- 3、プラン作成の背景と方針
- 4、まちの課題
- 5、対策案と実施スケジュール
- 6、活動経緯

羽沢横浜国大駅周辺まちづくりプラン

○対象地域

新駅を中心とした羽沢・常盤台地区

○推進組織

『羽沢横国まちづくり協議会』

○プランに盛り込む内容

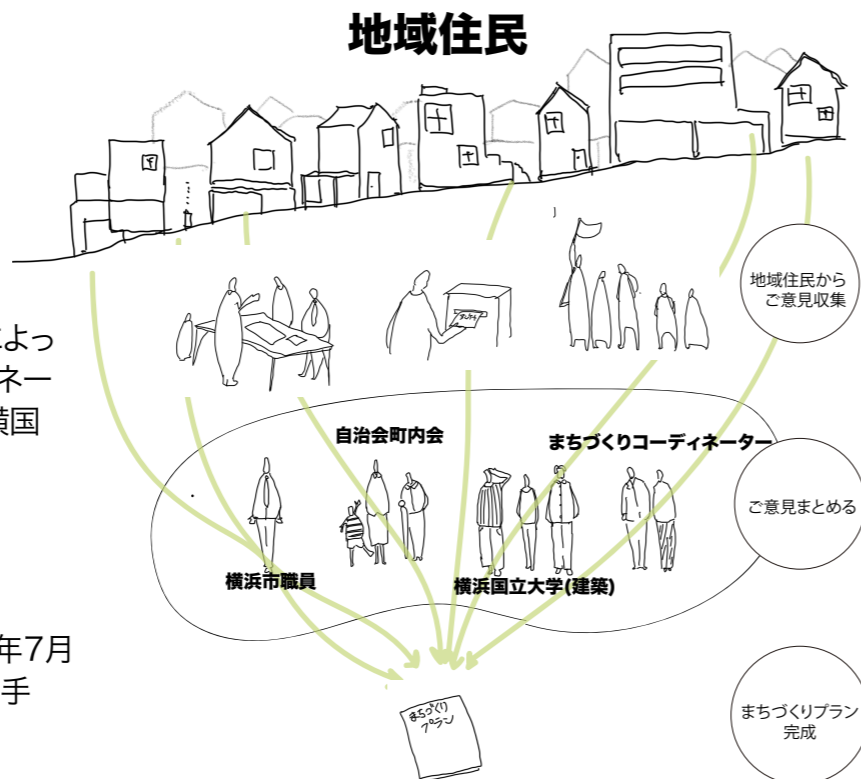
この地区が抱える課題とその解決案
また、街の魅力や愛着を育てる方法

○進め方

皆さんからのアンケートとワークショップによって意見を集め、横浜市、まちづくりコーディネーター、横浜国立大学とともに私たち『羽沢横国まちづくり協議会』で制作して行きます。

○今後のスケジュール

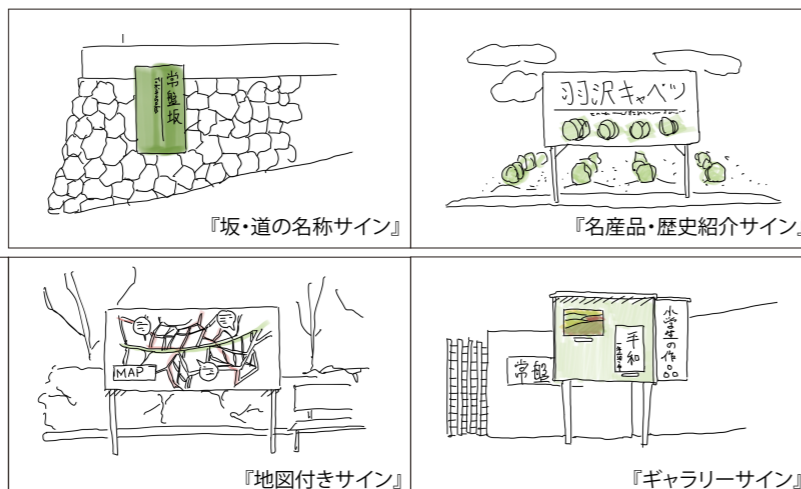
- 1、プランのアンケート調査
- 2、プラン原案作成→地域住民の承認
- 3、プランを横浜市へ申請→認可 令和6年7月
- 4、助成金申請→認可後1~2年で事業着手



2 サイン製作・設置グループ活動報告

○現在の状況

- ・設置場所決め
- ・デザイン決め
- ・業者見積検討中



3 横浜国大ワークショップ報告

2022/2/19 横浜市常盤台地域ケアプラザにて

第48回

『移動する空間』から『とどまる場所』へ まちなかでとどまれる場所を考えよう！

今回のWSは、2021年度のテーマ「バリアフリー」と2022年度のテーマ「とどまりたい場所づくり」の繋ぎとなるような内容を行いました。

グループワークでは、前回のワークで考えた、散歩ルートをもとに、途中で立ち止まるとしたら、そこで、

どんなことがしたいか、更にその場所にイスを置くとしたらどんなイスがいいかを考えました。ひとことにイスといっても、形や置く場所によってまちなかに様々なシーンが生まれることがわかり、2022年度のイスづくりに向けて期待が膨らみました。



4

『羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会』から 『羽沢横国まちづくり協議会』に改名しました

現在当会の名称は、当会の目的を端的に表したわかりやすい名称ですが、「文字数が多く覚えにくい」「手続き等で不便を感じる」などの意見をいただいております。これらを受け、私たちの活動が「地域の愛着を育てるサインづくり」の活動

をベースに、広く地域の課題に取り組むこの機会に、当会の名称を変更することにいたしました。9つの候補が提案され、それらについて協議をし「羽沢横国まちづくり協議会」に変更されることが決まりました！

ロゴマーク案に投票してください！

当会の名称変更に伴い、サインなどに付ける、ロゴマークを作ることになりました。現在、地域みなさんや横浜国立大生から下記のようにロゴデザインが3案できています。みなさんからの投票によってロゴマークを決定したいと考えています。みなさんぜひ投票をお願いします！

投票は、各町内会館・ケアプラザ・コミュニティハウス、もしくは右のQRコードから！

投票期間:6/1~7/31

